

# かけはし

患者さんと柏病院を  
つなぐ広報誌

VOL.27  
2022  
(5月)



新病院長のご挨拶

2人主治医制のご案内

特集

コロナ禍における  
フレイル予防の  
ポイントについて【その2】

## コロナ禍におけるフレイル予防のポイントについて【その2】

### コロナ禍におけるフレイル予防のポイント(リハビリテーション科)

#### ●知ってイルと役立つポイント【その2】

##### 「オーラルフレイルと唾液腺のマッサージ」

加齢とともに口が衰え、食べる機能や心身機能の低下となり、フレイルの状態に陥ることを「オーラルフレイル」と言います。オーラルフレイルの兆候には「食事中のむせ」、「食べこぼし」、「口の乾燥」、「滑舌の悪さ」などがあります。ここでは、口の乾燥を軽減する「唾液腺マッサージ」を紹介します。

##### 唾液腺マッサージ

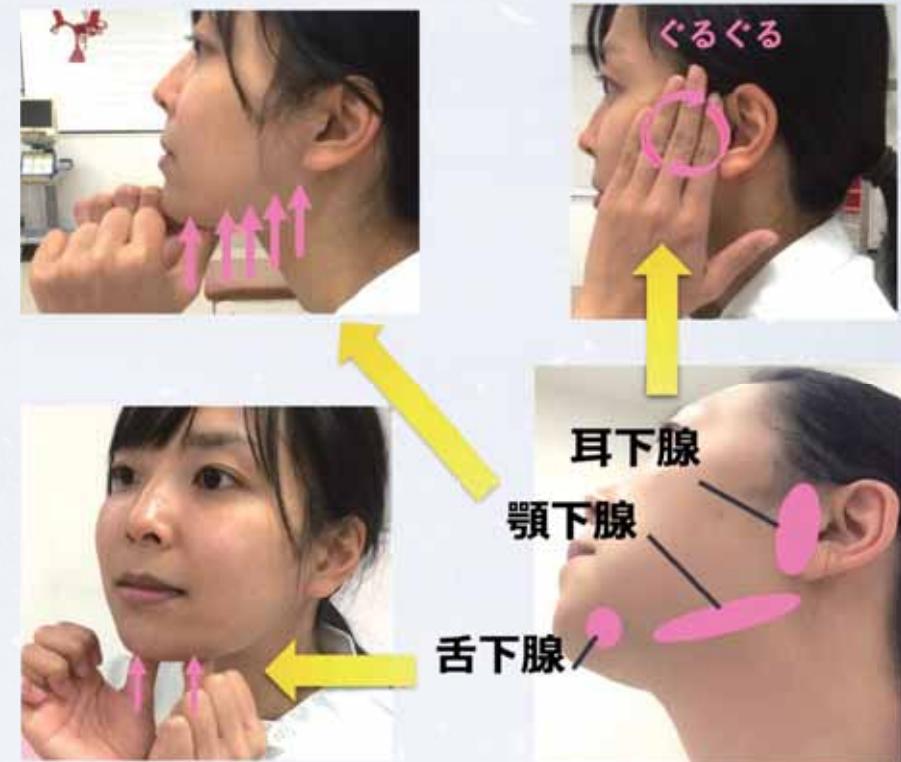
加齢によって唾液量が少なくなると、口の乾燥やむせ、誤嚥を引き起します。そこで、食事前に「耳下腺」、「舌下腺」、「頸下腺」を各5~10回マッサージすると、唾液の分泌を促すことができます。(図4) 唾液が増えると、口の中を清潔にしたり、消化を助けたりする効果が期待されます。

#### ●知ってイルと役立つポイント【その3】

##### 「興味や関心を持てる作業を見つける」

フレイルに関する調査では、フレイルが発症する経過をドミノ倒しに例えると、「社会とのつながり」を失うことから始まり、「心や体の虚弱」へ連鎖することがわかっています。つまり、フレイルの予防には社会参加の継続が必要です。作業療法では「人は作業(日常生活動作や仕事、趣味などを含む生活行為)を通して健康になる」という理念があります。そこで、みなさんの興味や関心を持てる作業や大切にしている作業はなにか、この機会に考えてみるのはいかがでしょうか。興味や関心を持つ作業を見つけて、新しい知識、経験を獲得することは認知症の予防にも効果的です。

図4.唾液腺マッサージ



#### ●おわりに

「コロナ禍でも役立つフレイル予防のポイント」をお届けしましたが、いかがだったでしょうか。今回の内容を通して、少しでもフレイルのことを知りいただけたら幸いです。そして、フレイルについて知った内容を、感染対策に配慮しながら、みなさまのご家族やご友人、大切な方々と語り合い、フレイル予防のつながりの輪を広げていただけることを願っております。

# 新病院長のご挨拶

吉田 博  
(よしだ ひろし)



●専門分野：  
総合内科学、臨床検査医学

●出身地：  
長崎県佐世保市

●特技・趣味：  
旅行、音楽、読書

本年4月に慈恵医大柏病院長に就任した吉田博です。当院は、患者さんやご家族から信頼される病院であることを目標に日々研鑽しています。慈恵医大は、1881年に学祖・高木兼寛先生が開設した、成医会講習所を起源としています。慈恵医大柏病院は、『病気を診ずして 病人を診よ』という建学の精神のもと、患者さんの立場に寄り添った全人的医療、「説明と同意」に基づいた安心・安全で質の高い医療の提供を追求しています。

当院は本年で35周年を迎え、664の病床を有しています。29の診療科と12の中央診療部門を持ち、1,300人以上のスタッフが、毎日平均1,400人の外来患者さんを受け入れ、年間約8,000件の手術を実施し、2,200件の新規がん患者さんを登録、8,200人の救急患者さん、4,500台の救急車を受け入れています。

これまでに災害拠点病院、東葛北部地域難病相談支援センター、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、エイズ治療拠点病院、地域医療支援病院の指定を受け、多種多様な役割を担う大学病院に変革を遂げてきました。柏病院は地域医療連携と急性期医療の推進とともに、病院スタッフ一同、心ひとつに力を合わせて良質な医療を提供してまいります。今後とも慈恵医大柏病院をよろしくお願ひいたします。

## 2人主治医制のご案内

「2人主治医制」とは、患者さんを中心として地域の「かかりつけ医」と当院の医師が互いに連携し、共同で継続的に治療を行うことです。

### かかりつけ医



- ①初期治療
- ②日頃の健康管理
- ③慢性的な病気
- ④経過の観察、普段の診察



### 慈恵医大柏病院

- ①高度かつ専門的な検査・治療
- ②入院を要する治療・検査・手術
- ③病状が急変したときの救急医療



●地域の「かかりつけ医」と当院の医師が「2人主治医」として、患者さんの病状や治療経過などの情報を共有し、役割分担しながら協力して患者さんを支えます。

●当院での治療で症状が安定ののちは、再び「かかりつけ医」にて治療を継続していただきます。

●緊急時や詳しい検査などが必要となった場合は、「かかりつけ医」から当院へ速やかにご紹介いただきます。

## 東京慈恵会医科大学附属柏病院

〒277-8567 千葉県柏市柏下163番地1

TEL.04-7164-1111 (代表)

<http://www.jikei.ac.jp/hospital/kashiwa/>